

# 県庁のしごとと改革ニュース



## 「速く」、「ムダなく」、「いい仕事」

～ 日本一のひとり1改革運動の取組成果のご紹介～

静岡県が取り組んでいる「しごと改革」。今回は、職員一人ひとりが自ら考え、身近なところから改革を実践している「ひとり1改革運動」についてご紹介します。  
この運動は平成10年度に始まりましたが、平成19年度の取組12,368件の効果を数値換算しました。

平成19年度12,368件の取組効果

職員

県民満足度の向上

**166億5,871万円 + 44人 + 6,224件**

節約と経済効果

**31億4,788万円の事務経費を節減**

例：使用停止小型焼却炉を短期に集中撤去したことで2億8,700万円を節減

**8万6,819時間の事務時間を節約(職員44人を採用するのと同じ効果)**

例：担当ごとにイベントが集中していた状況を、課内の会議により情報を共有し、業務を平準化することで2,116時間を節約

**135億1,083万円の経済効果が発生**

例：ネギ黒穂病の農薬登録により被害を防ぎ、その経済効果換算額が7,000万円

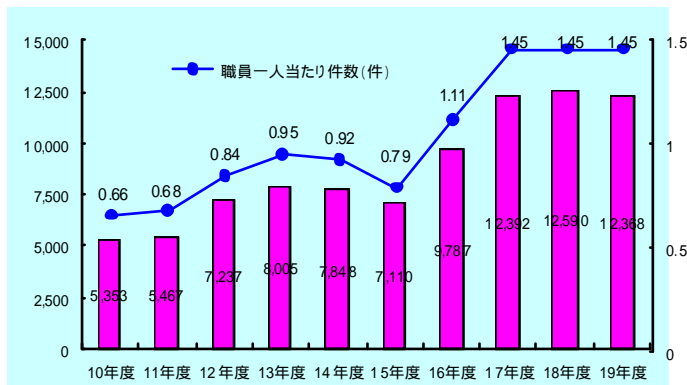
県民満足度の向上

**県民の皆様の満足度が向上した取組**

**6,224件**

例：がん患者さんに関する相談窓口を市町村ごとにリスト化し、情報提供  
抗がん剤の治療開始時間を明確化し、入院患者さんの待ち時間短縮  
道路案内標識を正確な英語表示と大きなサイズで、外国人にもわかりやすく表示  
田子の浦港の埋立工事を試験実施し、工事内容をわかりやすく説明  
特定疾患治療研究事業の更新案内をカラー化して、問い合わせに速やかに対応

< 取組件数の推移 >



< 全国比較 >

(単位：件)

順位	県名	合計	16年度	17年度	18年度
1	静岡	34,769	9,787	12,392	12,590
2	岩手	19,923	78	-	19,845
3	東京	4,067	1,517	1,356	1,194
4	熊本	1,601	337	283	981
5	福井	1,544	463	507	574

16年度：都道府県管理改善状況調

17、18年度：静岡県調査

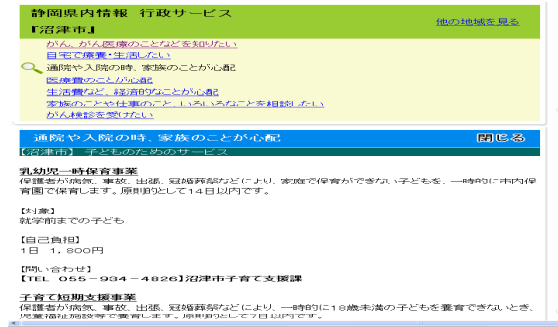
## < 県民サービス > 市町村担当部署をココにつなげて「がん相談窓口」を

マスコミでがんに関する特集が組まれると、市町村の保健センターへの問い合わせが増え、十分な対応ができずに困っていることを聞きました。

そこで、市町村に調査を行い、利用できるサービス、情報を得られる窓口を整理し、市町村ごとにリスト化し、ホームページに掲載したところ、たいへん便利だと反響がありました。

( 県立静岡がんセンター )

### がん患者さんにわかりやすい情報を提供



### 県立静岡がんセンターホームページ

<http://www.scchr.jp/>

## < ひらめき > いつでもシーツ交換

毎週火曜日に行っていたシーツ交換を効率的に行うため、立会いが必要、声かけが必要など患者さんの希望に応じて色分けしたシールを病室のネームプレートに貼りました。

これにより希望確認のため、ナースセンターにその都度戻る必要がなくなり、空いた時間を他の業務に当て、患者さんと接する時間も多くとることができました。

( 県立こころの医療センター )

### 患者さんの希望に応じたサービスを提供



## < 情報発信・啓発 > 避難所運営ゲーム「HUG(ハグ)」で楽しく学ぶ

( H ) ( U ) ( G )

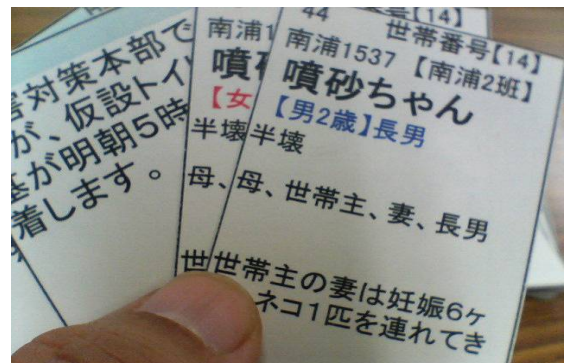
東海地震等の大災害が発生した場合、避難所に多くの方々が避難することが予想されますが、これまで避難生活体験訓練は実施されていましたが、避難所の運営に関する訓練は実施されていませんでした。

そこで、自主防災組織や避難所に派遣される市町村職員、防災関係者などが避難所の運営を模擬体験できるゲームを開発しました。

楽しく学べる教材としての評価も高く、いざという時のために皆さんも是非一度体験してはいかがでしょうか。

( 西部地域防災局 )

### 地域防災力の向上



「HUG(ハグ)」に関する問い合わせ先  
西部地域防災局  
( 0 5 3 8 - 3 7 - 2 2 0 9 )

## <共有化> 愛護・美化看板をアートギャラリーに活用

藤枝市大洲地区の栃山川流域に設置した河川美化看板が老朽化したため、新しい看板の設置にあわせ、地域、小中学校、行政が連携し、絵が変わるアートギャラリーとしました。

地元の小中学生が描いた絵を飾り、3ヶ月ごとに入れ替えることで、以前にも増して栃山川沿いに賑わいが出てきたとの声が寄せられています。

また、この取組は他の土木事務所にも広がっています。

(島田土木事務所維持管理課・企画検査課)

### 川の賑わい創出



アートギャラリーに関する問い合わせ先  
島田土木事務所維持管理課  
(0547-37-5274)

## <共有化> パスポート誤発送の防止

中部旅券センターでは、県内すべてのパスポートを作成し、他8箇所の旅券センターに完成したパスポートを送付しています。

誤発送の防止と個人情報の適正管理を目指して、発送する際の整理票とビニールパックの色を旅券センターごとに決め、作業の効率化とミスの発生防止を図りました。

これにより、申請書など数種類の書類の仕分けがスムーズに行えるようになりました。

(中部県民生活センター(中部旅券センター))

### 色分けによる作業の効率化



## <IT活用> 給食施設の自主管理と監視指導を効率化

食品衛生監視専門班では、学校などの集団給食施設の監視率100%を目標に効率的な監視指導を行っていますが、施設当たりの監視指導や情報提供の時間が減少する傾向にありました。

そこで、時間減少を補うために、衛生管理に関するCDソフトを独自に作成し、疑問が生じたときに集団給食施設で利用することで、少ない監視時間でも効果の高い衛生管理ができるようになりました。

(中部健康福祉センター食品衛生監視第2専門班)

### 時間節約: 1,430 時間



衛生管理向上ソフトに関する問い合わせ先  
中部健康福祉センター食品衛生監視第2専門班  
(054-645-1709)

## < 環境 > 使用停止小型焼却炉を短期集中撤去

ダイオキシン類の規制により、県が所有する使用停止小型焼却炉 182 基を早い時期に解体撤去する必要がありました。

当初は5年間の期間と4億5,200万円の工事費を見込んでいましたが、撤去する地域をまとめた一括入札の実施などの効率化に取り組んだ結果、3年間の期間と1億6,500万円の工事費ですべてを撤去することができました。

( 環境局廃棄物リサイクル室 )

### 環境汚染の防止



### < これまでの主な取組事例と効果 >

	主な取組事例	効果	
	宅配便の一元化・巡回郵便の実施	約2,000万円	発送経費の節減
	県庁の電気需給契約に際し、一般競争入札を実施	約1,500万円	電気料金の節減
	雨水とソーラー発電を利用したトイレ等の整備	約100万円	維持管理費の節減
	バーコード印字郵便割引に適合する納税通知書に変更	約2,000万円 3,000時間以上	発送経費と事務時間の節減
	国・県・市の協働で清水港紹介パンフレットを製作	県民満足度向上	効果的な見学案内
	在住外国人向けの携帯電話等サイトを開設	都道府県初の取組	有益な情報の提供
	滅菌ガーゼ・綿球等の供給方法を変更	約1,600万円	経費の節減
	ボランティアによる港湾指導員制度の創設	県民満足度向上	港湾管理体制の充実
16年度	大阪の女性3人を起用したインパクトのあるオレオレ詐欺CMを制作	1億円以上	1億円以上のCM効果と被害件数の減少
	夜間納税窓口の定期開設	県民満足度向上	納税しやすい環境づくり
	患者さんの待ち時間を利用した血液検査見学サービス	県民満足度向上	検査に関する理解促進
	扱いやすい手術用縫合糸に変更	約270万円	安全性は維持して経費節減
17年度	センサー式通学路安心灯を地域と協働で開発	全国初の取組	防犯まちづくりの推進
	農家と住民との協働で鳥獣害防止柵を設置	約7,200万円	10年間の被害想定額の防止
	渋滞緩和事業により通過時間を短縮	約300億円	時間短縮に係る経済効果
	治療証明カードで患者さんの生活支援	県民満足度向上	患者さんへ安心感を提供
18年度	災害時のインターネット利用につき民間事業者と協定	約1億4,000万円	災害時の広報体制を確立
	回転広場で橋の渋滞を解消	約78億円	コスト削減と時間短縮の経済効果
	鉄道高架工事の現場監督体制を効率化	約1,000時間	時間外勤務が大幅減
	「薬カード」で緊急時の医療体制を整備	県民満足度向上	患者さんへ安心感を提供

### 静岡県総務部行政改革室

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 電話：054-221-2911 FAX：054-221-2750

e-mail [gyoukaku@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:gyoukaku@pref.shizuoka.lg.jp)

ホームページ <http://www.pref.shizuoka.jp/soumu/so-030a/>

平成20年4月発行